

富士見町議会行政視察報告書

平成26年7月16日

富士見町議会
議長 織田 昭雄 様

総務経済常任委員会
委員長 五味 平 一
社会文教常任委員会
委員長 名取 武 一

平成26年6月議会定例会において議決された議員派遣の結果について、下記の通り報告いたします。

記

- 1、調査期間 平成26年6月23日（月）～24日（火）
- 2、調査場所 富山県氷見市 6/23 「市民参加による学校施設の再利用」について
石川県金沢市 6/24 「広域観光の戦略とまちづくり」について
富山県砺波市 世界遺産「五箇山の合掌造り集落」の視察
- 3、参加者 町議会議員全員 11名、事務局1名 計12名

広域観光の戦略とまちづくり・北陸新幹線開業に向けた金沢市の取り組み

(1) 視察目的

来春3月、長野新幹線は金沢まで延伸して、北陸新幹線として東京～金沢間は2時間30分で結ばれる。長野～金沢間も1時間の通勤圏となる。高速交通網の整備は、長野県を含む中部・北陸圏の広域観光面にも大きなインパクトが予想される。

そこで、昨年から力を入れている八ヶ岳観光圏の広域観光事業との関連から、北陸新幹線の開業に向け、意欲的なプロモーション活動を展開している金沢市を訪問した。金沢市は石川県の県庁所在地で、加賀100万石の城下町として発展、人口は50万人を擁する北陸最大の都市。わが15,000人の町とはすべての点で、大きな相違があるが、「大船に乗った」気持ちで、営業戦略部プロモーション推進課の古谷健課長補佐から2時間に渡り説明を受け、幾つかの質問にも丁寧な答弁を頂いた。

(2) 新幹線開業プロモーション・イベント実施

金沢市の「新幹線開業プロモーション・イベント実施計画」は、平成25年から29年までのロング・プロジェクト事業。実施計画は次の7つの柱から組み立てられている。

①首都圏における総合宣伝の展開②滞在型観光の促進③リピーターの拡大促進④都市間連携など広域観光の推進⑤開業記念イベント⑥おもてなし環境の整備⑦ICTを活用した情報発信の充実一となっている。

新幹線の開業により、東京と金沢が2時間30分でつながる。

現在JRでの移動時間は、関西圏・中京圏とも2時間30分であるのに対し、首都圏からは上越新幹線と北陸線を乗り継いで4時間かかる。首都圏からの移動時間が関西・中京圏と同じになるため、金沢市を核とする自治体は「首都圏誘客500万人構想」の実現と関西・中京圏から500万人、合わせて年間1,000万人の誘客を目指している。

(3) 都市間交流・連携による広域観光

①北陸新幹線停車駅都市との連携

このプロモーションは、北陸新幹線沿線都市の観光資源を有機的に結びつけ、都市ブランドを高めながら魅力あるまちづくりを目指す広域事業。

平成20年に推進会議を設立、11都市が加盟。県内からは飯山、長野、上田、佐久市が参加している。

これまで実施した主な事業は、ポスター・広域観光パンフの制作、共同イベントの開催（首都圏駅・高崎駅）などを積極的に展開している。

②長野市との広域連携

長野市と金沢市との移動時間は、現在、JR乗り継ぎで約3時間30分を要する。

開業後は約1時間となり、通勤圏となるとともに広域観光ルートとしての組み合わせが可能となる。

また、新幹線開業後の春には、7年に1度の「善光寺御開帳」が行われる。

このため長野市では関西圏からの観光客の増、金沢市では長野（善光寺）を経由する広域観光客の増への期待があり、相互に連携を強化してきた。

北陸新幹線は、JR東日本とJR西日本が共同で運用される。

そこで、両市とJR2社の4者が連携する体制を構築し、JR東日本とJR西日本エリアの双方の駅で、両市の共同キャンペーンを行うことが実現した。

昨年は大阪駅で、本年は東京駅と大阪駅で「金沢・長野観光キャンペーン」を開催するなど、わが国2大経済圏からの誘客に力を入れている。

自治体とJR会社が連携した、広域観光プロモーション活動は各方面から注目されている。

③北陸・飛騨.3つ星街道広域観光連携

この事業は、新幹線効果を高速バスやマイカー（レンタカー）と組み合わせた広域観光事業推進のため立案されたもので、参加都市は金沢市、南砺市、白川村、高山市が推進協議会を設立。モデルルートの作成、グルメツアー、モニターツアー、ガイド交流会などの開催を積極的に実施している。

フランスの旅行ガイドブック（ミュッシュラン・ジャポン）に、3つ星で紹介されている観光地を広域的に結び、世界遺産を巡るゴールデンルートを構築する取り組み。

対象となる観光ポイントとして兼六園（金沢市）世界遺産・五箇山合掌造り集落（富山県南砺市）白川郷（岐阜県白川村）それに飛騨高山美術館（岐阜県高山市）の五か所あり、自動車で2時間圏内で移動することができる。

首都圏からの高山市への所要時間は、現在、松本あるいは名古屋を経由して4時間～5時間余り。しかし、北陸新幹線の開業で、東京→金沢→高山ルートも同程度の移動時間となり、アクセス方法の選択肢が増え、観光客の増加が期待できる。

また、逆ルートとなる松本→高山→金沢→東京ルートも可能となる。

更に、上高地、奥飛騨温泉郷、白川郷、五箇山を組み合わせることにより、3つ星観光

と世界遺産、温泉地をめぐるゴールデンルートが構築できることになり、これらの観光資源をつなぐ広域観光を推進するため、関係自治体首長による「広域観光サミット」も開催されている。

金沢市プロモーション推進課の、古谷課長補佐は「このルートは海外からの観光客に人気が高く、高速バスやレンタカーを織り込んだ新しい旅行商品の開発を進めているが、そのためには、松本・諏訪地域との協力体制も生まれてくる」と意欲を見せている。

④世界遺産 「五箇山の合掌造り集落」の視察

富山県南砺市五箇山の相倉地区に20棟、菅沼地区に9棟の合掌造りの建物がある。東海北陸自動車道・五箇山IC近く。集落全体が重要伝統的建造物群保存地区になっており、国の史跡に指定され、平成7年に白川郷と共に世界遺産に登録された。

現存する古いものは天保年間以来の建築とされている。 (文責 小池 博之)

(金沢市役所会議室での研修)



(世界遺産・五箇山合掌造り集落の視察)



